



# 目次

---

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
  - 2.1. 本書の目的
  - 2.2. 対象読者
  - 2.3. 本書の構成
- 3. 注意点
  - 3.1. HTML→PDF変換
- 4. ジョブ
  - 4.1. HTML→PDF変換
- 5. ジョブネット
  - 5.1. HTML→PDF変換
- 6. チュートリアル
  - 6.1. HTML→PDF変換

## 改訂情報

---

変更年月日	変更内容
-------	------

---

2026-04-01	初版
------------	----

---

## 本書の目的

---

本書では IM-PDFAutoConverter for Accel Platform で提供されているジョブ・ジョブネットの一覧、各ジョブ、ジョブネットの説明、パラメータについて説明します。

## 対象読者

---

次の利用者を対象としています。

- IM-PDFAutoConverter for Accel Platform のジョブ・ジョブネットを利用する方

## 本書の構成

---

- [注意点](#)

ジョブ・ジョブネットに関する注意点について説明します。

- [ジョブ](#)

ジョブの一覧と、各ジョブについて説明します。

- [ジョブネット](#)

ジョブネットの一覧と、各ジョブネットについて説明します。

- [チュートリアル](#)

ジョブ・ジョブネットを使用したPDFファイルの変換方法を説明します。

## HTML→PDF変換

### ベースURLの設定が必要です

HTML→PDF変換 のジョブ・ジョブネットを利用する場合、intra-mart Accel Platform のベースURLの設定が必要です。

ベースURLを設定していない場合、変換実行時にエラーが発生します。

### ファイルサイズの大きいPDFファイルは、出力処理に時間がかかる場合があります

ファイルサイズの大きいPDFファイルを作成する際、出力処理に時間がかかり、ジョブ・ジョブネットのレスポンスとPDFファイルがディスク上に完全に書き出されるタイミングが大きく異なる場合があります。

サイズの大きいPDFファイルを作成する場合は、出力処理の時間を考慮し、十分な時間が経過した後に、出力されたPDFファイルにアクセスするようにしてください。

### 大量のPDF変換を指示した場合、タイムアウトが発生する可能性があります

HTML→PDF変換 に依頼された変換処理は、順番待ち（キュー）の状態となり、一度に大量のPDF変換を指示しても、設定ファイルで設定された起動数ずつ処理される仕組みです。

そのため、大量のPDF変換を指示すると、順番待ちとなったファイルは指示開始から変換処理までに数分以上掛かることもあり、タイムアウトが発生する可能性があります。

大量のPDF変換を指示する場合は、上位アプリケーション側でタイムアウトまでの時間延長設定、または、タイムアウト時にリトライする仕組みなどの対応を検討してください。

HTML→PDF変換 のジョブ・ジョブネット は、次のタイムアウトを利用します。

- 設定ファイル< htmltopdf-config.xml >

項目名	説明
<before-timeout-sec>	PDF変換が完了するまでの待機時間（秒）を設定します。 未設定の場合は設定ファイルから値を取得します。 未設定かつ、設定ファイルの値が存在しない場合は3600秒(1時間)待機します。

#### 注意

<before-timeout-sec>にて設定した時間を超過した場合、タイムアウトエラーとして例外をスローしますが、既に実行済みの変換処理は継続します。

そのため、上記項目に設定する時間は、変換処理呼び出し側が待機する時間として扱ってください。



コラム

PDF変換処理のタイムアウトを変更した場合は、intra-mart Accel Platform のセッションタイムアウトについても確認してください。

PDF変換処理が完了する前に intra-mart Accel Platform のセッションタイムアウトが発生した場合、変換結果を受け取ることができません。

intra-mart Accel Platform のセッションタイムアウトの設定については、intra-mart Accel Platform のドキュメントを参照してください。

PDF変換を行うまでの待機時間が短い場合、正常に変換されない可能性があります

HTML→PDF変換 において、画面表示後、PDF変換を行うまでの待機時間が短い場合、正常に変換されない可能性があります。

次の実行パラメータを利用し、適切な待機時間を設定することを推奨します。

キー	値	名前	必須	デフォルト値
waitMillisecond	5000	画面表示後、PDF変換を行うまでの待機時間をミリ秒単位で設定します。 未設定の場合は設定ファイルから値を取得します。 未設定、かつ、設定ファイルの値が存在しない場合は5000ミリ秒(5秒)待機します。		5000

IM-Workflow のコンテンツ画面をPDF変換する場合、遷移可能なURLを指定してください

URLを指定して IM-Workflow のコンテンツ画面をPDF変換する場合、遷移可能なURLを指定してください。

IM-Workflow のコンテンツ画面のURLについては、「[IM-Workflowの色々なコンテンツ画面へ遷移するURL](#)」を参照してください。

## HTML→PDF変換

---

### convertImartScreenNoSessionInfo

---

#### ジョブ概要

- 変換ユーザのユーザコードを利用して画面をPDF変換し、渡されたパスへ出力します。  
本ジョブは対象ユーザのログインセッション情報を必要としません。

#### 基本情報

ジョブカテゴリ (カテゴリID)	IM-PDFAutoConverter (pdfa-job-category) └ HTML→PDF変換 (pdfa-job-htmltopdf-category)
------------------	---

ジョブID	convert-imart-screen-no-session-info-job
-------	--

ジョブ名	convertImartScreenNoSessionInfo
------	---------------------------------

#### 実行パラメータ

- このジョブにはパラメータ指定はありません。

#### ジョブネット

- このジョブを使用するジョブネットです。

[convertImartScreenNoSessionInfo](#)

### convertWorkflowScreenNoSessionInfo

---

#### ジョブ概要

- 変換ユーザのユーザコードを利用してフローの画面をPDF変換し、渡されたパスへ出力します。  
本ジョブは対象ユーザのログインセッション情報を必要としません。

#### 基本情報

ジョブカテゴリ (カテゴリID)	IM-PDFAutoConverter (pdfa-job-category) └ HTML→PDF変換 (pdfa-job-htmltopdf-category)
------------------	---

ジョブID	convert-workflow-screen-no-session-info-job
-------	---

ジョブ名	convertWorkflowScreenNoSessionInfo
------	------------------------------------

#### 実行パラメータ

- このジョブにはパラメータ指定はありません。

- このジョブを使用するジョブネットです。

[\*convertWorkflowScreenNoSessionInfo\*](#)

## HTML→PDF変換

### convertImartScreenNoSessionInfo

#### ジョブネット概要

- 変換ユーザのユーザコードを利用して画面をPDF変換し、渡されたパスへ出力します。  
本ジョブネットは対象ユーザのログインセッション情報を必要としません。

#### 基本情報

ジョブカテゴリ (カテゴリID)	IM-PDFAutoConverter (pdfa-jobnet-category) └ HTML→PDF変換 (pdfa-jobnet-htmltopdf-category)
ジョブネットID	convert-imart-screen-no-session-info-jobnet
ジョブネット名	convertImartScreenNoSessionInfo

#### 実行パラメータ

- ジョブに指定するパラメータリストです。

キー	値	名前	必須	デフォルト値
convertUrlPath		変換対象画面の相対パス (コンテキストルート以降のURL)	必須	
outputPath		PDFファイルの出力先 (パブリックストレージからの相対パス)	必須	
processUserCd		変換対象画面へアクセスを行うユーザのユーザコード	必須	
isUseConvertServer	false	システム構成 スタンドアロン構成 : false 分散構成 : true	必須	
paperSizeWidth	210	PDFの用紙サイズの幅 (1~5080mm) 未設定の場合は設定ファイルから値を取得します。 未設定、かつ、設定ファイルの値が存在しない場合は210mm*297mm (A4縦) で出力します。 なお、上記範囲内でも設定されたサイズが極端に小さい場合は、エラーが発生する場合があります。	(※1)	210

キー	値	名前	必須	デフォルト値
paperSizeHeight	297	PDFの用紙サイズの高さ（1～5080mm） 未設定の場合は設定ファイルから値を取得します。 未設定、かつ、設定ファイルの値が存在しない場合は210mm*297mm（A4縦）で出力します。 なお、上記範囲内でも設定されたサイズが極端に小さい場合は、エラーが発生する場合があります。	(※1)	297
marginTop		PDFの上側の余白（mm単位）	(※2)	0
marginBottom		PDFの下側の余白（mm単位）	(※2)	0
marginLeft		PDFの左側の余白（mm単位）	(※2)	0
marginRight		PDFの右側の余白（mm単位）	(※2)	0
pageRange		PDFへ出力するページ範囲 例：“1-5, 8, 11-13”		全ページ
scale	1.0	ページの拡大率（0.1～2.0）		1.0（原寸大）
openPassword		オープンパスワード		
securityPassword		セキュリティパスワード		
securityMode		PDFセキュリティの暗号化レベル 0：RC4 40ビット 1：RC4 128ビット 2：AES 128ビット	(※3)	
securityPrint		印刷セキュリティ 40ビットの場合： 0：許可しない 1：許可する 128ビットの場合： 0：許可しない 1：低画質のみ許可する 2：許可する	(※3)	
securityEdit		編集セキュリティ 0：許可しない 1：許可する	(※3)	
securityCopy		コピーセキュリティ 0：許可しない 1：許可する	(※3)	
securityAddNote		注釈追記セキュリティ 40ビットの場合： 0：許可しない 1：許可する 128ビットの場合： 0：許可しない 1：アセンブリを許可する 2：フォーム入力を許可する 3：フォーム入力と注釈追加を許可する 4：許可する	(※3)	

キー	値	名前	必須	デフォルト値
fastWebView		Web最適化の有無 最適化する : true 最適化しない : false		false
isOutputBackgroundColor		背景色の出力有無 出力する : true 出力しない : false		true
waitMillisecond	5000	画面表示後、PDF変換を行うまでの待機時間（ミリ秒単位） 未設定の場合は設定ファイルから値を取得します。 未設定、かつ、設定ファイルの値が存在しない場合は5000ミリ秒(5秒)待機します。		5000

※1：実行パラメータで用紙サイズを設定する場合は必須です。

※2：余白を設定する場合は必須です。

※3：セキュリティ情報を設定する場合は必須です。



#### コラム

ジョブネットの画面上では、アルファベット順に表示されます。

## ジョブ

- このジョブネットが使用するジョブです。

[convertImartScreenNoSessionInfo](#)

## convertWorkflowScreenNoSessionInfo

### ジョブネット概要

- 変換ユーザのユーザコードを利用してフローの画面をPDF変換し、渡されたパスへ出力します。

本ジョブネットは対象ユーザのログインセッション情報を必要としません。

### 基本情報

ジョブカテゴリ (カテゴリID)	IM-PDFAutoConverter (pdfa-jobnet-category) └ HTML→PDF変換 (pdfa-jobnet-htmktopdf-category)
------------------	---

ジョブネットID	convert-workflow-screen-no-session-info-jobnet
----------	--

ジョブネット名	convertWorkflowScreenNoSessionInfo
---------	------------------------------------

### 実行パラメータ

- ジョブに指定するパラメータリストです。

キー	値	名前	必須	デフォルト値
----	---	----	----	--------

キー	値	名前	必須	デフォルト値
systemMatterId		システム案件ID	必須	
userDataId		ユーザデータID	必須	
outputPath		PDFファイルの出力先（パブリックストレージからの相対パス）	必須	
processUserCd		変換対象画面へアクセスを行うユーザのユーザコード	必須	
isUseConvertServer	false	システム構成 スタンドアロン構成 : false 分散構成 : true	必須	
paperSizeWidth	210	PDFの用紙サイズの幅（1~5080mm） 未設定の場合は設定ファイルから値を取得します。 未設定、かつ、設定ファイルの値が存在しない場合は210mm*297mm（A4縦）で出力します。 なお、上記範囲内でも設定されたサイズが極端に小さい場合は、エラーが発生する場合があります。	(※1)	210
paperSizeHeight	297	PDFの用紙サイズの高さ（1~5080mm） 未設定の場合は設定ファイルから値を取得します。 未設定、かつ、設定ファイルの値が存在しない場合は210mm*297mm（A4縦）で出力します。 なお、上記範囲内でも設定されたサイズが極端に小さい場合は、エラーが発生する場合があります。	(※1)	297
marginTop		PDFの上側の余白（mm単位）	(※2)	0
marginBottom		PDFの下側の余白（mm単位）	(※2)	0
marginLeft		PDFの左側の余白（mm単位）	(※2)	0
marginRight		PDFの右側の余白（mm単位）	(※2)	0
pageRange		PDFへ出力するページ範囲 例：“1-5, 8, 11-13”		全ページ
scale	1.0	ページの拡大率（0.1~2.0）		1.0（原寸大）
openPassword		オープンパスワード		
securityPassword		セキュリティパスワード		
securityMode		PDFセキュリティの暗号化レベル 0 : RC4 40ビット 1 : RC4 128ビット 2 : AES 128ビット	(※3)	

キー	値	名前	必須	デフォルト値
securityPrint		印刷セキュリティ 40ビットの場合： 0：許可しない 1：許可する 128ビットの場合： 0：許可しない 1：低画質のみ許可する 2：許可する	(※3)	
securityEdit		編集セキュリティ 0：許可しない 1：許可する	(※3)	
securityCopy		コピーセキュリティ 0：許可しない 1：許可する	(※3)	
securityAddNote		注釈追記セキュリティ 40ビットの場合： 0：許可しない 1：許可する 128ビットの場合： 0：許可しない 1：アセンブリを許可する 2：フォーム入力を許可する 3：フォーム入力と注釈追加を許可する 4：許可する	(※3)	
fastWebView		Web最適化の有無 最適化する：true 最適化しない：false		false
isOutputBackgroundColor		背景色の出力有無 出力する：true 出力しない：false		true
waitMillisecond	5000	画面表示後、PDF変換を行うまでの待機時間 (ミリ秒単位) 未設定の場合は設定ファイルから値を取得します。 未設定、かつ、設定ファイルの値が存在しない場合は5000ミリ秒(5秒)待機します。		5000

※1：実行パラメータで用紙サイズを設定する場合は必須です。

※2：余白を設定する場合は必須です。

※3：セキュリティ情報を設定する場合は必須です。



#### コラム

ジョブネットの画面上では、アルファベット順に表示されます。

#### ジョブ

- このジョブネットが使用するジョブです。

[convertWorkflowScreenNoSessionInfo](#)

## HTML→PDF変換

### 概要

本チュートリアルでは、ジョブ・ジョブネットを使用した IM-Workflow の画面（HTMLファイル）からPDFファイルへの基本的な変換方法を説明します。

### 前提条件

本チュートリアルを進めるにあたり、次の事前準備が行われていることが前提となります。

- 2026 Spring 以降のバージョンの IM-PDFAutoConverter for Accel Platform（HTML→PDF変換、ジョブ）のセットアップが完了していること。
- ジョブスケジューラのセットアップが完了していること。
- IM-FormaDesigner for Accel Platform のセットアップが完了していること。
- IM-Workflow のセットアップが完了していること。
- intra-mart Accel Platform のベースURLを設定していること。
- intra-mart Accel Platform のテナント環境セットアップが完了していること。
- intra-mart Accel Platform のサンプルデータの投入が完了していること。

### 実践

#### convertWorkflowScreenNoSessionInfo

本チュートリアルでは、HTML→PDF変換のジョブ・ジョブネットを実行する IM-Workflow のユーザプログラムを作成し、そのプログラムを実行することで、IM-Workflow の画面（HTMLファイル）をPDFファイルに変換します。

変換処理のタイミングは、IM-Workflow の承認ノードのアクション処理となります。

処理の全体の流れは、次の通りです。

- 承認ノードのアクション処理  
案件情報や対象のユーザコードなどを指定し、ジョブを実行します。  
対象のプログラムファイルは < JobExecuteProcess.js > です。
- ジョブ  
指定された情報をもとに、HTML→PDF変換処理を実行します。  
対象のジョブは < convertWorkflowScreenNoSessionInfo > です。

チュートリアルを実施するにあたり、次のzipファイルをダウンロードし、解凍してください。

< [htmltopdf\\_job\\_no\\_ss\\_tutorial.zip](#) >

解凍したファイルの構成は、次の通りです。

フォルダ名/ファイル名	説明
import/	HTML→PDF変換 インポート関連フォルダ
htmltopdf_job_no_ss_forma.zip	IM-FormaDesigner for Accel Platform で作成したアプリケーションのアプリケーション情報ファイル
htmltopdf_job_no_ss_workflow.xml	IM-Workflow のコンテンツ定義、ルート定義、フロー定義、および、案件プロパティ定義の定義情報ファイル

フォルダ名/ファイル名	説明
jssp/	スクリプト開発モデル 用フォルダ
JobExecuteProcess.js	スクリプト開発モデル 用プログラム

< import/htmltopdf\_job\_no\_ss\_forma.zip >を、IM-FormaDesigner for Accel Platform のアプリケーション情報インポート画面からインポートしてください。

< import/htmltopdf\_job\_no\_ss\_workflow.xml >を、IM-Workflow のインポート画面からインポートしてください。

次の手順に沿って、チュートリアルを進めます。

## PDFファイルの変換

本項目では、HTML→PDF変換のジョブ・ジョブネットを実行するユーザプログラムを作成後、IM-Workflowの承認アクション処理としてユーザプログラムを実行し、承認時の処理詳細画面（HTMLファイル）をPDFファイルに変換します。

### 手順

- プログラムを作成する
  - PDFファイル変換処理のジョブ・ジョブネット実行用のJSファイルを作成する
- プログラムを登録する
- プログラムを実行・確認する
  - 申請する
  - 承認する

### プログラムを作成する

#### PDFファイル変換処理のジョブ・ジョブネット実行用のJSファイルを作成する

1. < jssp/JobExecuteProcess.js >をテキストエディタで開きます。
2. 11行目を次のように修正し、PDFファイル名の接頭文字を指定します。

```
const prefix = "htmltopdf_";
```

3. 13行目を次のように修正し、PDFファイルの出力先ディレクトリを指定します。

```
const dirPath = "pdfa/tutorial/htmltopdf/job_jobnet/no_ss";
```

4. 18行目を次のように修正し、ジョブネットIDを指定します。

```
const jobnetId = "convert-workflow-screen-no-session-info-jobnet";
```

5. 33行目を次のように修正し、システム案件IDを指定します。

```
jobDetail.parameters.systemMatterId = parameter.systemMatterId;
```

6. 35行目を次のように修正し、ユーザデータIDを指定します。

```
jobDetail.parameters.userId = parameter.userId;
```

7. 39行目を次のように修正し、変換を行うユーザのユーザコードを指定します。

```
jobDetail.parameters.processUserCd = parameter.execUserCd;
```

8. 41行目を次のように修正し、システム構成を指定します。

- スタンドアローン構成 の場合

```
jobDetail.parameters.isUseConvertServer = "false";
```

- 分散構成 の場合

```
jobDetail.parameters.isUseConvertServer = "true";
```

9. 44～45行目を次のように修正し、PDFの用紙サイズを指定します。

```
jobDetail.parameters.paperSizeWidth = "200";  
jobDetail.parameters.paperSizeHeight = "200";
```

10. 48～51行目を次のように修正し、PDFの余白を指定します。

```
jobDetail.parameters.marginTop = "5";  
jobDetail.parameters.marginBottom = "5";  
jobDetail.parameters.marginLeft = "5";  
jobDetail.parameters.marginRight = "5";
```

11. 54行目を次のように修正し、出力するページ範囲を指定します。

```
jobDetail.parameters.pageRange = "1";
```

12. 57行目を次のように修正し、ページの拡大率を指定します。

```
jobDetail.parameters.scale = "0.8";
```

13. 60～66行目を次のように修正し、PDFのセキュリティ情報を指定します。

```
jobDetail.parameters.openPassword = "open";  
jobDetail.parameters.securityPassword = "security";  
jobDetail.parameters.securityMode = "0";  
jobDetail.parameters.securityEdit = "0";  
jobDetail.parameters.securityCopy = "1";  
jobDetail.parameters.securityPrint = "1";  
jobDetail.parameters.securityAddNote = "0";
```

14. 69行目を次のように修正し、Web最適化の有無を指定します。

```
jobDetail.parameters.fastWebView = "true";
```

15. 72行目を次のように修正し、背景色の出力有無を指定します。

```
jobDetail.parameters.isOutputBackgroundColor = "true";
```

16. 75行目を次のように修正し、PDF変換実行までの待機時間を指定します。

```
jobDetail.parameters.waitMillisecond = "6000";
```

17. 上書き保存します。



**注意**

文字コードを UTF-8 にして保存してください。

18. < %RESIN\_HOME%/webapps/{warファイルと同名のディレクトリ}/WEB-INF/jssp/src/pdfa/tutorial/htmltopdf/job\_jobnet/no\_ss >ディレクトリを作成します。
19. < jssp/JobExecuteProcess.js >を< %RESIN\_HOME%/webapps/{warファイルと同名のディレクトリ}/WEB-INF/jssp/src/pdfa/tutorial/htmltopdf/job\_jobnet/no\_ss >配下に設置します。
20. < %PUBLIC\_STORAGE\_PATH% /pdfa/tutorial/htmltopdf/job\_jobnet/no\_ss >ディレクトリを作成します。

#### プログラムを登録する

設置したプログラムを環境に適用するため、Web Application Server を再起動します。

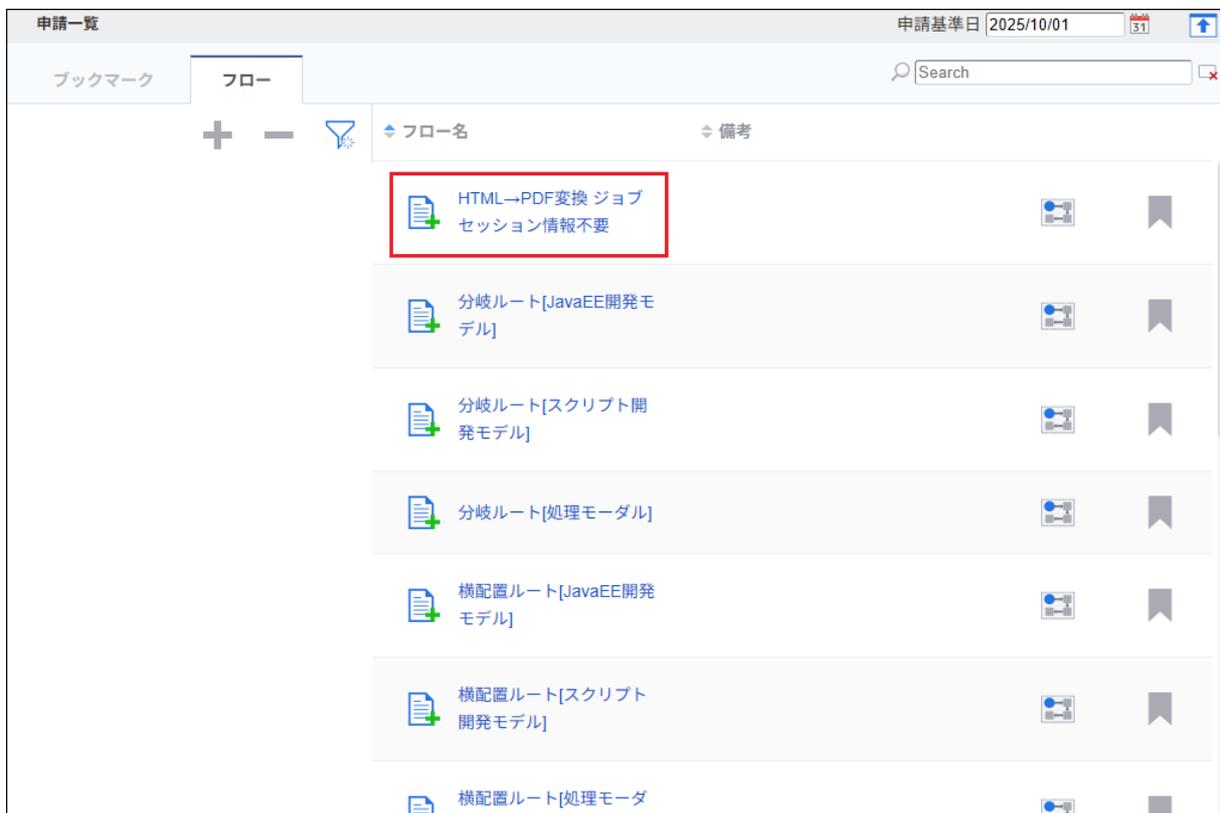
#### プログラムを実行・確認する

##### 申請する

1. サンプルユーザの「上田辰男」（ユーザコード：ueda パスワード:ueda）で、一般ユーザ画面< http://<HOST>:<PORT>/<CONTEXT\_PATH>/login >にログインします。
2. 「サイトマップ」 - 「ワークフロー」 - 「一覧」 - 「申請一覧」をクリックします。



3. 「フロー」タブ- 「HTML→PDF変換 ジョブ セッション情報不要」をクリックします。



4. 申請画面が表示されるため、適切な値を入力し、「申請」をクリックします。

**立替経費申請書**

記入日:  所属:

ユーザーID:  氏名:

---

**申請情報**

支払金額:

支払先:

支払目的:

支払内容:

**コラム**  
エラーが発生した場合は、エラーメッセージの内容に従い入力値の修正等を行ってください。

5. 「申請」をクリックします。

申請 [申請]

フロー

案件名 *	HTML→PDF変換 ジョブ セッション情報不要
申請者	上田辰男
申請基準日	2025/10/01
担当組織 *	サンプル課 2 2
優先度	通常
+ コメント	
+ 添付ファイル	

申請

6. 「決定」をクリックします。

処理確認

? 申請します。よろしいですか?

決定 取り消し

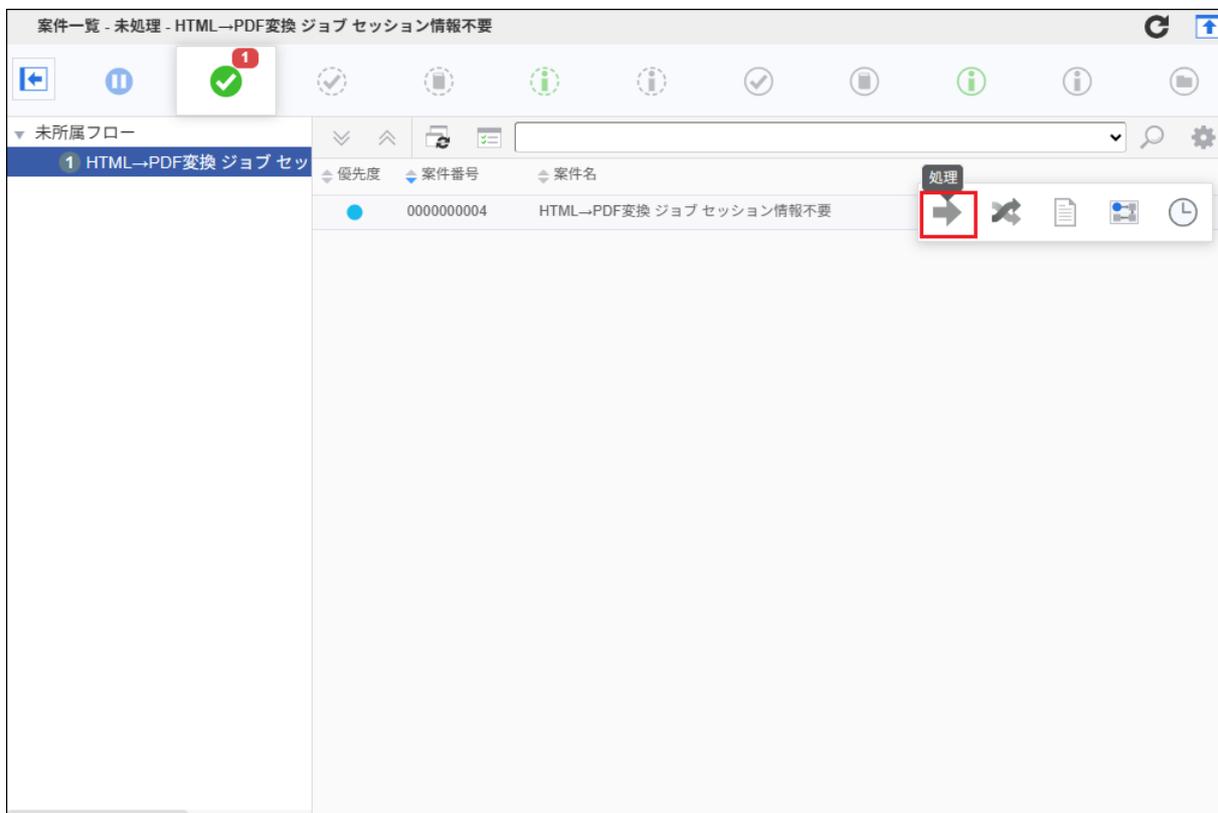
#### 承認する

1. サンプルユーザの「青柳辰巳」（ユーザコード：aoyagi パスワード:aoyagi）で、一般ユーザ画面< http://<HOST>:<PORT>/<CONTEXT\_PATH>/login >にログインします。
2. 「サイトマップ」 - 「ワークフロー」 - 「一覧」 - 「案件一覧」をクリックします。

サイトマップ

- FileExchange
- ワークフロー
  - 印影設定
  - 代理設定
    - 代理先設定
    - 代理元確認
  - 検索
  - 一覧
    - 申請一覧
    - 案件一覧
- ポータル
- Contents Search
- 共通マスタ
- 個人設定
- サンプル

3. 「未処理」タブの一覧から、「申請する」で申請した案件を選択し、「処理」アイコンをクリックします。



4. 承認画面が表示されるため、「承認」をクリックします。

**立替経費申請書**

記入日:  所属:

ユーザーID:  氏名:

---

**申請情報**

支払金額:

支払先:

支払目的:

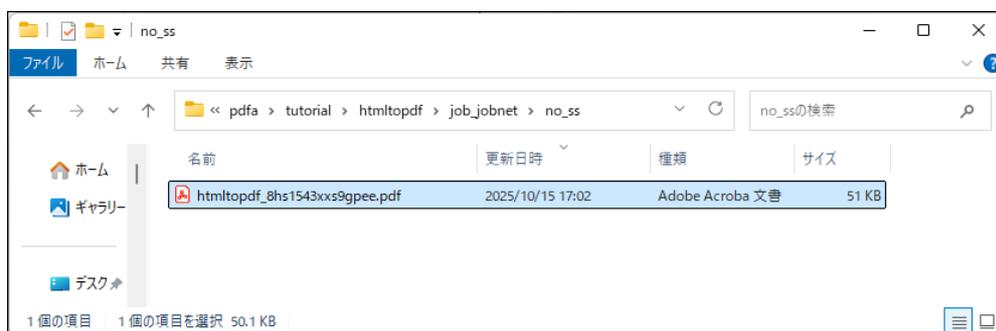
支払内容:

5. 「承認」をクリックします。

6. 「決定」をクリックします。

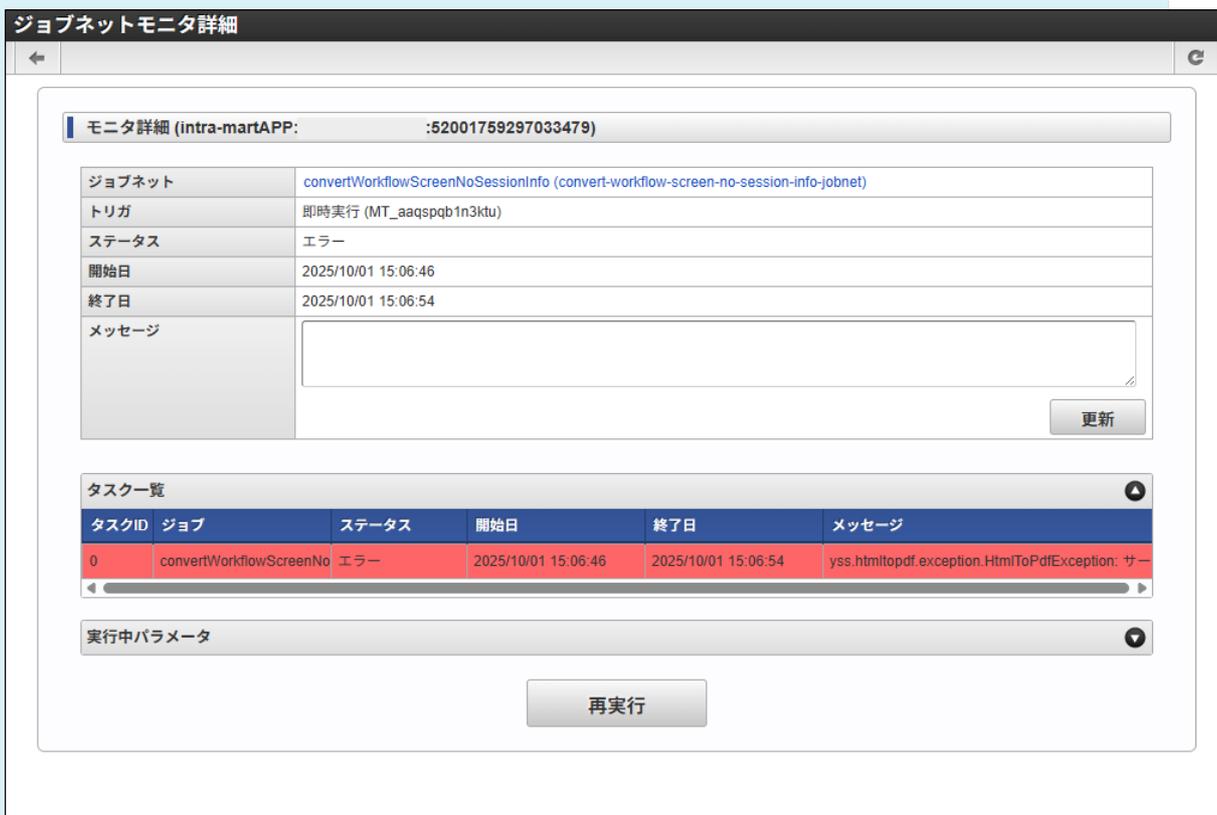


プログラムが実行され、< %PUBLIC\_STORAGE\_PATH% /pdfa/tutorial/htmltopdf/job\_jobnet/no\_ss >にPDFファイルが出力されます。

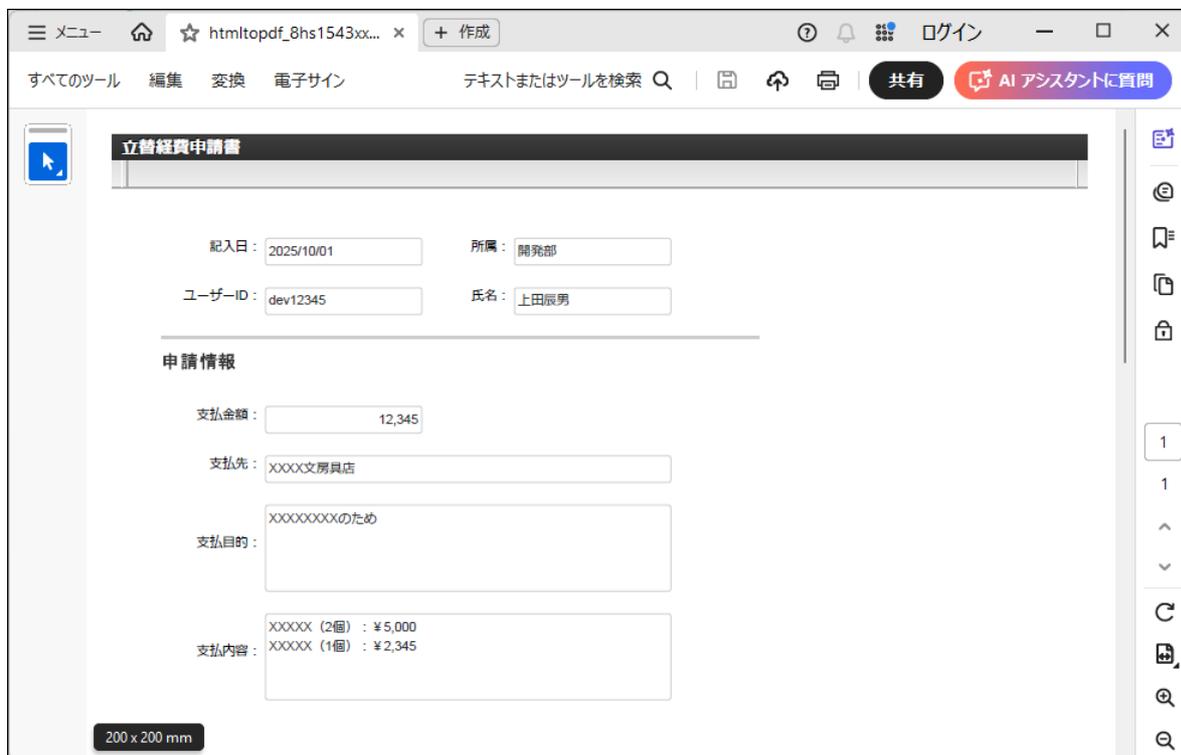


**i** コラム

エラーが発生した場合は、「ジョブネットモニタ詳細」画面のエラーメッセージや、例外ログの内容に従いファイルの修正等を行ってください。



- 出力されたPDFファイルをPDFビューア（Adobe Acrobat Reader など）で開き、正しく表示されることを確認します。





#### コラム

PDFファイルのパスワードは、次の通りです。

- オープンパスワード：「open」
- セキュリティパスワード：「security」